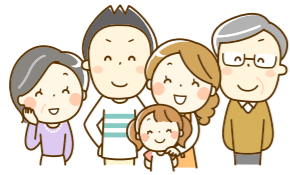


令和5年度の主な施策概要

本年度の主な施策の概要は、以下のとおりです。当初予算の詳細については、広報薩摩川内5月号でお知らせいたします。

1 少子化・子育て・人口減少対策

- 移住・定住、関係人口創出の促進事業を実施
- 子育て世帯の支援など安心して子どもを産み育てることのできる環境の整備を実施
- 校務支援員の配置や部活動の地域移行支援などによる教育の質向上への取り組みを実施
- 特別教室への空調整備などによる子どもたちの学びの環境改善の取り組みを実施



2 医療・社会福祉の充実

- ヤングケアラーなどの相談・支援機能の強化を実施
- 医療従事者などの確保や甑島の診療所再編に向けた基本構想の策定を実施



3 地域活性化 人流・物流・経済の好循環

- アフターコロナを見据えた事業継続、販路拡大のための支援事業を実施
- 市内企業の人材不足解消の取り組みを実施
- 「燃ゆる感動かごしま国体」などによる交流人口創出の取り組みを実施



4 市民の安全安心の取り組みや社会基盤の整備

- 集中豪雨などによる浸水被害などを軽減するための取り組みを実施
- 川内港の港湾機能の拡充に向けた取り組みを実施
- 消防通信指令センター共同運用に向けた取り組みを実施



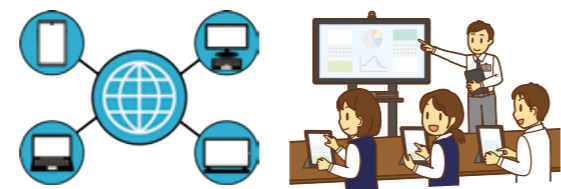
5 SDGs・カーボンニュートラルの取り組み

- 全市民的なSDGs推進の機運醸成に向けたSDGsチャレンジ事業を実施
- 地球温暖化対策実行計画を策定



6 デジタル社会の構築

- デジタルの力を活用した社会課題の解決に向けた取り組みを実施
- 地域通貨プラットフォーム構築事業を実施
- 教育におけるICT化の推進



令和5年第1回薩摩川内市議会定例会

施政方針の概要

令和5年2月20日開会の第1回市議会定例会において、田中良二市長が述べた市政に関する考え方や方針の概要を一部紹介します。

なお、全文は市ホームページ上でも紹介しています。



▲市ホームページ

史の転換点であるとして述べ、深刻さを増す気候変動問題、感染症対策などの地球規模の課題、世界中で生じている格差問題などの現実を前に、今こそ、新たな方向に足を踏み出さなければならぬ、力を合わせ、共に、新時代の国づくり、安定した国際秩序づくりを進めていこうと国民に呼び掛けました。

その上で、「防衛力の抜本的強化」、「新しい資本主義」、「子ども・子育て政策」、「包摂的な経済社会づくり」、「災害対応・復興支援」、「新型コロナ」、「外交・安全と保障」、「憲法改正」、「政治の信頼」の柱で政策を進めるとされています。

施策の概要

本市においても、誰一人取り残さない持続可能な社会の構築のためには、人口減少、少子化対策などが喫緊の課題であります。その中で、社会保障費、公施設などの維持管理費が増加していることから、なお一層の健全な行政運営に努めていく必要があります。

このような認識の下、本市の令和5年度の主要施策につきましては、新たな行政課題に適切に対応していくとともに、選択と集中により次ページの施策をはじめ各般の取り組みを推進し

てまいります。

予算の大綱

令和5年度当初予算案においては、アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望（※1）、第2次総合計画および総合戦略に基づく施策の推進、未来創生10ビジョン（※2）の実現に向けた事業の実施、新型コロナウイルスおよび地域経済対策に資する事業の実施、薩摩川内市SDGs・カーボンニュートラル宣言を踏まえた予算を編成したところであります。

これらの結果、一般会計当初予算の規模は、前年度当初予算に比べ、2パーセント増の54億4千万円となりました。また、温泉給湯事業など9つの特別会計は、合計で260億5403万6千円となった他、水道事業など3つの公営企業会計は、合計で56億5488万7千円となりました。

三むすび

最後に、本年度も各種施策を展開・推進するに当たり、市民の皆さまのより一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（※2）

未来創生10ビジョンとは…

田中良二市長の公約であり、第2次薩摩川内市総合計画を踏まえつつ、「未来創造」と「地方創生」の2つを柱として本市の未来への発展と各地域の均衡ある発展を目指します。

未来創造ビジョン ~未来への発展に向けて

- 1 コロナ復興・スマートシティ
- 2 産業経済
- 3 文化・スポーツ・観光
- 4 社会基盤
- 5 定住促進・新たな国際化

▲川内港

地方創生ビジョン ~均衡ある発展に向けて

- 1 人材の育成・活躍
- 2 コミュニティ・環境
- 3 健康・福祉
- 4 子ども・教育
- 5 市役所改革

▲甑大橋

（※1）

アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望とは…

おおむね令和10年4月を目途に、実現を目指す田中良二市長の戦略方針です。

5つの未来創生

- 1 新ビジョンの策定
 - ・第3次総合計画策定
 - ・48地区コミュニティの地区振興計画改訂
- 2 循環経済・産業拠点の創出～川内港臨海ゾーン整備
 - ・川内港久見崎みらいゾーンの分譲・企業立地
 - ・南九州西回り自動車道阿久根川内道路薩摩川内水引IC～(仮称)湯田西方ICの供用 など
- 3 雇用の創出
 - ・既存誘致企業の拡張推進
 - ・新規就農者育成拠点施設、閉校跡地の利活用推進
- 4 交流の創出
 - ・全国大会の開催支援、誘致
 - ・川内文化ホール跡地活用施設の整備促進
- 5 甑島医療体制の整備
 - ・甑島の診療所などの再編、整備

▲川内文化ホール跡地整備イメージ